

第1回 2月 共通テスト本番レベル模試

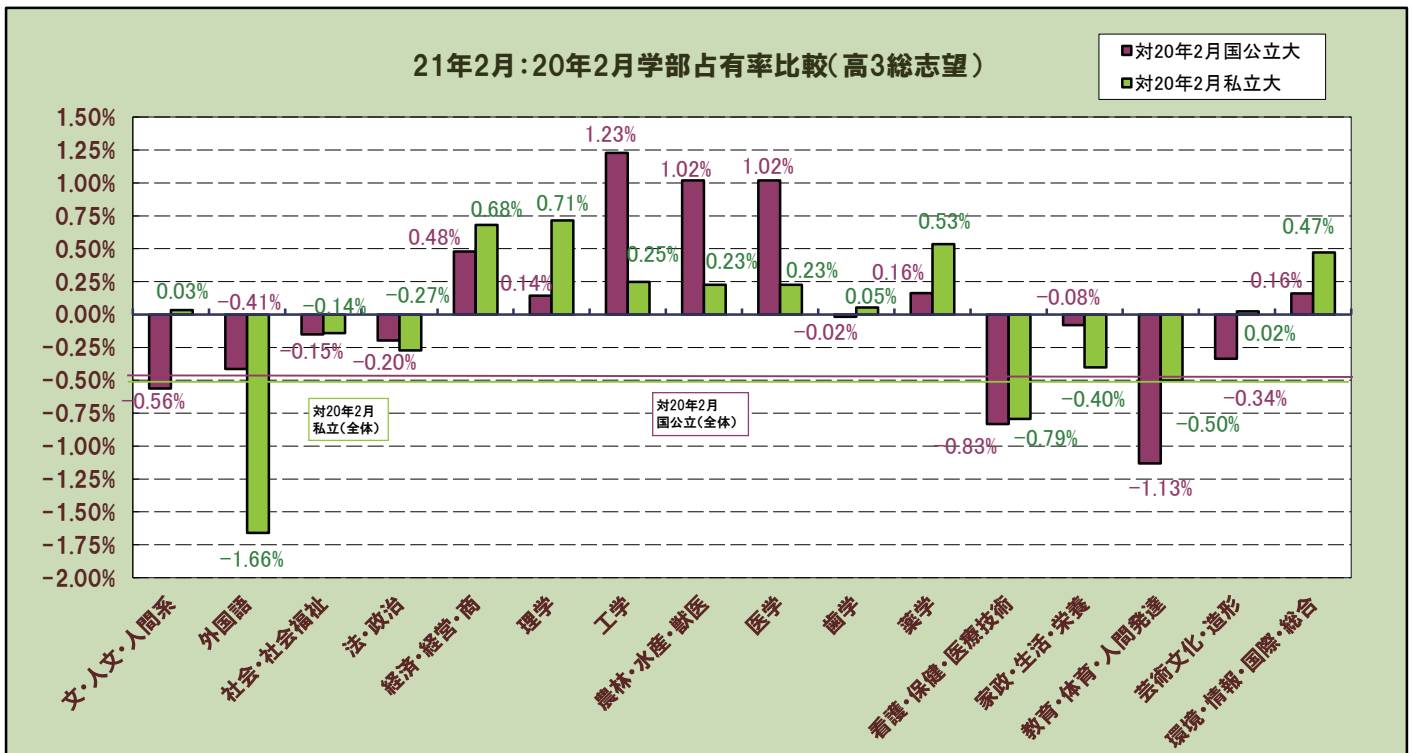
春休みを利用して 基礎固めをしっかりと！

2月21日（日）に実施した「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」の新高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験し、間もなく大学入試を終えようとしている受験生の志望動向と比較した。

もうすぐ受験シーズンを終えようとしている先輩たちは昨年の今ごろ、どのような学問を学ぶことを目標にしてスタートを切ったのだろうか。

初めての共通テストが終わり、実際の問題を目にした新高3生は、先輩たちよりも具体的な対策が立てやすいはず。早めのスタートを切って、ライバルに差をつけよう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

■国公立大

2021年度入試で見られた薬学系人気が見られる。ポストコロナ時代の就職状況を見据えてか、経済・経営・商系を除き、全体的には理高文低の人気傾向であり、中でも、近年は人気低迷気味であった農林・水産・獣医系(特に獣医系)の人气が急上昇している。一方で、当面は海外への留学は難しいという判断もあってか、外国語系は人気下がっている。

■私立大

理高文低の傾向、農林・水産・獣医系や薬学系人気、外国語系の不人気と、基本的には国公立大学と似た傾向といえる。歯学系と芸術文化・造形系は設置大学も多くはないため、多少の増減で大きく指数に変化が出ることから、今回の結果をもってして、全体の傾向というのは時期尚早。今後の動向を見ていく必要がある。

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	91	100	99
外国語	74	55	61
社会・社会福祉	92	97	98
法・政治	97	97	98
経済・経営・商	105	104	105
理学	101	112	105
工学	102	105	102
農林・水産・獣医	130	114	123
医学	112	110	108
歯学	98	123	102
薬学	104	116	110
看護・保健・医療技術	88	84	85
家政・生活・栄養	91	73	80
教育・体育・人間発達	85	90	86
芸術文化・造形	58	102	87
環境・情報・国際・総合	104	108	107

※このデータは、2021年と2020年の「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。